

グスタフ・メラーと 板東の記憶

記録は、守る人がいて
はじめて歴史になる。

GUSTAV

MÖLLER

ERINNERUNGEN AN BANDŌ

—Über ein Jahrhundert lang weitergegebene Aufzeichnungen

—1世紀を超えて
受け継がれた記録—

2026年4月15日（水）～5月28日（木）

鳴門市ドイツ館 2階企画展示室

午前9時30分 から 午後5時（入館は4時30分まで）

※休館日 第4月曜日

大人400円、小中学生100円／常設展と共通

記録は、書かれただけでは歴史になりません。守る人がいて、託す決断があり、受け継ぐ場所があって、はじめて歴史となります。

本展では、青島戦を経験し、板東俘虜收容所で制作活動を行ったグスタフ・メラーの歩みを、「記録」という視点からたどります。

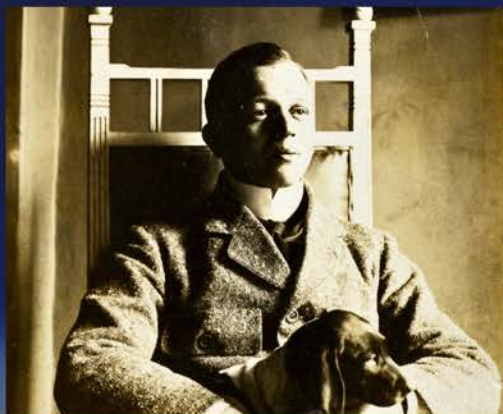
戦場のノート、板東で生まれた印刷物、そして家族のもとで守られてきた資料群。それらはいかにして鳴門へ託されたのか。一世紀を超えて受け継がれた記録の旅を紹介します。

グスタフ・メラーと板東の記憶 — 1世紀を超えて受け継がれた記録 —

GUSTAV MÖLLER UND ERINNERUNG AN BANDŌ
— ÜBER EIN JAHRHUNDERT LANG WEITERGEGEBENE AUFZEICHNUNGEN

グスタフ・メラーとは

1890年、ドイツ・ロストック生まれ。上海の貿易商社に勤務していた1914年、突然の召集命令により青島へ。日英連合軍との戦いに敗れ、捕虜として日本へ送られました。板東俘虜収容所では所内新聞『ディ・バラッケ』の編集を担い、演奏会・演劇のプログラムや絵葉書など多数のデザインを手がけました。その創造性は板東の文化活動の中核をなしています。



グスタフ・メラー Gustav Möller



記録帳《NÖTE-BUCH》



「第九」アジア初演プログラム（メラーによるデザイン・製本）
Programmzettel zur asiatischen Erstaufführung der Neunten
Symphonie (gebundene Ausgabe, Gestaltung und Bindung von
Möller)

記録帳《NÖTE-BUCH》

松山俘虜収容所で書き綴られた三冊のノート。題名は「諸苦難の書」と訳されます。戦場での体験を地名・配置・時系列で整理し直したこの記録は、前線で逐一書かれた日誌ではなく、捕虜という「時間の余白」のなかで戦争経験を語り直そうとした、能動的な編集の産物です。板東での創造活動は、この記録する習慣から続いています。

板東で生まれた文化

板東に残るプログラム約114点のうち、少なくとも77点にメラーの署名「GM」が確認されます。第九交響曲アジア初演プログラムをはじめ、新聞の挿絵、童話の挿絵、絵葉書。謄写版印刷という制約のなかで石版刷りのような画面を実現した技術と美意識は、今も見る者を驚かせます。

受け継がれた記録の旅

帰国後のメラーは、自らの体験を多く語ることはありませんでした。しかし、それらの資料が捨てられることはありませんでした。板東俘虜収容所のプログラムの製本、新聞のバインダー、手紙、写真、そして《NÖTE-BUCH》。それらは娘へ、孫のペトラ・ボルナー氏へと受け継がれてきました。

本展は、2016年以降の継続的な調査研究をもとに構成されています。子孫への聞き取り、スイスでの資料閲覧、そして寄贈へと至る記録の旅を、資料とともにたどります。

記録が歴史となるとき

グスタフ・メラーに関する資料は、孫であるペトラ・ボルナー氏によって大切に受け継がれ、2018年に鳴門市へと託されました。

ペトラ氏は2025年に逝去されましたが、これらの資料は、守り、託し、受け継ぐという営みのなかで、はじめて歴史として生き続けます。ここに深い感謝の意を表するとともに、謹んで追悼の意を表します。

Wenn Aufzeichnungen zu Geschichte werden

Die Materialien zu Gustav Möller wurden von seiner Enkelin, Petra Borner, über Generationen hinweg sorgfältig aufbewahrt und im Jahr 2018 der Stadt Naruto gestiftet.

Frau Borner verstarb im Jahr 2025, doch die von ihr gestifteten Gegenstände verdeutlichen, dass Aufzeichnungen nur dann zu Geschichte werden, wenn sie gut aufbewahrt, weitergegeben und übernommen werden. Wir sprechen ihr unseren tiefen Dank und Respekt in stiller Anteilnahme aus.

画像：2018年、スイス・
オッフフェルデンのご自宅にて。
ペトラ・ボルナー氏とご主人
ベルンハルト・ボルナー氏。
Foto: 2018, in der Schweiz,
Petra und Bernhard Borner.



お問い合わせ先

鳴門市ドイツ館 Deutsches Haus Naruto
〒779-0225 徳島県鳴門市大麻町松字東山田55-2
55-2 Higashiyamada, Aza Hinoki, Oasa-cho, Naruto-shi
Tokushima 779-0225, Japan
TEL. : +81-88-679-9110
Email: doitukan@city.naruto.i-tokushima.jp